

第一級陸上特殊無線技士「法規」試験問題

12問

(注) 解答は、正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入(マーク)してください。

[1] 次に掲げる用語の定義のうち、電波法の規定に照らし正しいものを下の番号から選べ。

- 1 「無線電信」とは、電波を利用して、符号を送り、又は受けるための通信設備をいう。
- 2 「電波」とは、3,000 万メガヘルツ以下の周波数の電磁波をいう。
- 3 「無線設備」とは、無線電信、無線電話その他の電波を送り、又は受けるための通信設備をいう。
- 4 「無線従事者」とは、無線設備の操作又はその管理を行う者であって、総務大臣の免許を受けたものをいう。

[2] 次に掲げるもののうち、固定局の免許状に記載される事項に該当しないものを、電波法の規定に照らし下の番号から選べ。

- 1 無線局の目的 2 通信の相手方及び通信事項 3 通信方式 4 無線設備の設置場所

[3] 次の記述は、電波の質に関する電波法の規定について述べたものである。□□ 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

送信設備に使用する電波の □□ 等電波の質は、総務省令で定めるところに適合するものでなければならない。

- 1 周波数の偏差、高調波の強度
- 2 周波数の幅、空中線電力の偏差
- 3 周波数の偏差及び幅、高調波の強度
- 4 周波数の偏差及び幅、空中線電力の偏差

[4] 次の記述は、高圧電気に対する安全施設について電波法施行規則の規定に沿って述べたものである。□□ 内に入れるべき字句の正しい組合せを下の番号から選べ。なお、□□ 内の同じ記号は、同じ字句を示す。

送信設備の空中線、給電線若しくはカウンターポイズであって高圧電気(高周波若しくは交流の電圧 □□ A 又は直流の電圧 750 ボルトを超える電気をいう。)を通ずるものは、その高さが人の歩行その他起居する平面から □□ B 以上のものでなければならない。ただし、次に掲げる場合は、この限りでない。

- (1) □□ B に満たない高さの部分が、人体に容易にふれない構造である場合又は人体が容易にふれない位置にある場合
- (2) 移動局であって、その移動体の構造上困難であり、かつ、□□ C 以外の者が出入りしない場所にある場合

A	B	C
1 300 ボルト	3 メートル	取扱者
2 300 ボルト	2.5 メートル	無線従事者
3 350 ボルト	2.5 メートル	取扱者
4 350 ボルト	3 メートル	無線従事者

[5] 次に掲げる記号をもって表示する電波の型式のうち、電波の主搬送波の変調の型式が周波数変調のもの、主搬送波を変調する信号の性質がデジタル信号である2以上のチャンネルのもの及び伝送情報の型式が電話(音響の放送を含む。)のものはどれか、電波法施行規則の規定により正しいものを下の番号から選べ。

- 1 A3E 2 F3E 3 F8C 4 F7E

〔 6 〕 次に掲げる者のうち、主任無線従事者はどれか、電波法の規定により正しいものを下の番号から選べ。

- 1 無線従事者であって、無線局の無線設備の管理を行う者
- 2 無線従事者であって、無線局（アマチュア無線局を除く。）の無線設備の操作の監督を行う者
- 3 同一免許人に属する無線局の無線設備の操作を行う者のうち、その責任者
- 4 2人以上選任された無線従事者がいるとき、そのうち責任者となる無線従事者

〔 7 〕 次の記述は、無線通信の秘密の保護について電波法の規定に沿って述べたものである。□□□ 内に入れるべき字句の正しい組合せを下の番号から選べ。

何人も法律に別段の定めがある場合を除くほか、□ A □ の相手方に対して行われる無線通信を傍受してその □ B □ を漏らし、又はこれを □ C □ してはならない。

- | A | B | C |
|-------|----------|--------|
| 1 特定 | 存在若しくは内容 | 窃用 |
| 2 特定 | 内容 | 他人の用に供 |
| 3 不特定 | 内容 | 窃用 |
| 4 不特定 | 存在若しくは内容 | 他人の用に供 |

〔 8 〕 電波を発射して行う無線電話の機器の試験又は調整中、無線局運用規則の規定により、しばしばその電波の周波数により聴守を行って確かめなければならないものを下の番号から選べ。

- 1 他の無線局から停止の要求がないかどうか。
- 2 受信機が最良の感度に調整されているかどうか。
- 3 自局に対する呼出しが行われていないかどうか。
- 4 他の無線局が通信を開始していないかどうか。

〔 9 〕 次の記述は、電波の発射の停止について電波法の規定に沿って述べたものである。□□□ 内に入れるべき字句の正しい組合せを下の番号から選べ。

総務大臣は、無線局の発射する電波の質が総務省令で定めるものに適合していないと認めるときは、当該無線局に対して □ A □ 電波の発射の停止を命ずることができる。

総務大臣は、□ の命令を受けた無線局からその発射する電波の質が総務省令の定めるものに適合するに至った旨の申出を受けたときは、その無線局に電波を □ B □ させなければならない。

総務大臣は、□ の規定により発射する電波の質が総務省令で定めるものに適合しているときは、直ちに □ C □ しなければならない。

- | A | B | C |
|----------|--------|--------|
| 1 臨時に | 臨時に発射 | その旨を通知 |
| 2 臨時に | 試験的に発射 | の停止を解除 |
| 3 期間を定めて | 臨時に発射 | の停止を解除 |
| 4 期間を定めて | 試験的に発射 | その旨を通知 |

〔 10 〕 免許人等は、無線局の検査の結果について総合通信局長（沖縄総合通信事務所長を含む。以下同じ。）から指示を受け相当な措置をしたときはどうしなければならないか、電波法施行規則の規定により正しいものを下の番号から選べ。

- 1 その措置の内容を無線業務日誌に記載するとともに総合通信局長に報告しなければならない。
- 2 その措置の内容を無線検査簿又は無線局検査結果通知書の記載欄に記載するとともに総合通信局長に報告しなければならない。
- 3 その措置の内容を免許状の余白に記載しておかなければならない。
- 4 速やかに措置した旨を担当検査職員に連絡しなければならない。

〔 11 〕 次の記述のうち、無線従事者がその免許を取り消されることがある場合に該当しないものを、電波法の規定に照らし下の番号から選べ。

- 1 電波法若しくは電波法に基づく命令又はこれらに基づく処分に違反したとき。
- 2 著しく心身に欠陥があつて無線従事者たるに適しない者に該当するに至ったとき。
- 3 日本の国籍を失ったとき。
- 4 不正な手段により免許を受けたとき。

〔 12 〕 基地局の免許状は、掲示を困難とする場合を除き、どこに掲げておかねばならないか、電波法施行規則の規定により正しいものを下の番号から選べ。

- 1 無線局のある事務所の見やすい箇所
- 2 通信室内の見やすい箇所
- 3 受信装置のある場所の見やすい箇所
- 4 主たる送信装置のある場所の見やすい箇所